

平成 29 年度

学生によるオレンジリボン運動

国際医療福祉大学 実施報告書



実施主体 国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科

実施内容 オレンジリボン運動の周知、一言メッセージ

①事前に取り組んだ内容

参加学生は、虐待された子どものケアに関心を持ち、様々な書籍やグループ学習により虐待を理解してきました。夏休みには児童福祉施設で 23 日間の実習を行い、その中で、虐待が子どもに及ぼす影響について学びを深めました。実習経験を踏まえ、児童虐待を未然に防ぐにはどうしたら良いかを考えてきました。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭において、オレンジリボン運動に関する資料を展示、児童虐待防止活動の映像を放映し、来場者にオレンジリボンの配布と説明を行いました。また、来場者に児童虐待防止への一言メッセージを書いていたいただきました。

③オレンジリボン運動を終えて…

今回のオレンジリボン運動により、地域の皆さんに児童虐待防止について知ってもらえることができました。オレンジリボン運動の始まりが栃木県であることを知って驚かれる方も多く、自分の身近な所で起こっている問題なのだと思えるきっかけになったように感じました。

来場者は、学生、小さな子どもを連れてご家族、地域のお年寄りなど多様な世代の方々に、それぞれの立場から子どもの笑顔を願った、虐待防止への一言メッセージをいただき、広く児童虐待について関心を持ってもらえたと思います。



【国際医療福祉大学】 <http://www.iuhw.ac.jp>